

**令和5年度第1回 厚真町津波防災地域づくり推進協議会  
議事要旨**

○日 時：令和5年5月26日（金）13:30～15:00

○場 所：厚真町総合福祉センター 大集会室（勇払郡厚真町京町165-1）

**○次第**

- 1 開会
- 2 厚真町津波防災地域づくり推進協議会委員の紹介
- 3 厚真町津波防災地域づくり推進協議会 会長選出
- 4 会長挨拶
- 5 議事
  - (1) 津波防災地域づくり推進計画の策定
    - ① 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の概要
    - ② 厚真町の地域特性・これまでの津波対策
    - ③ 津波防災地域づくり推進計画策定の目的
    - ④ 津波防災地域づくり推進協議会の設置目的
    - ⑤ 協議会の進め方（今後のスケジュール）
  - (2) 質疑応答
- 6 次回の協議会の開催予定
- 7 閉会

**○配付資料**

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿
- ・ 配席図
- ・ 協議会進行資料
- ・ 厚真町津波防災地域づくり推進協議会設置要綱
- ・ 委員名簿
- ・ 厚真町津波ハザードマップ
- ・ 津波防災地域づくりに関する法律 パンフレット

**○意見要旨**

**1 開会**

- ・ 事務局より開会を行った。
- ・ 厚真町を代表して西野副町長より、挨拶を行った。

【配布資料の確認】

【協議会委員への委嘱状の交付】

**2 厚真町津波防災地域づくり推進協議会委員の紹介**

- ・ 各委員の紹介、挨拶

**3 厚真町津波防災地域づくり推進協議会 会長選出**

- ・ 事務局より会長として東北学院大学 定池准教授を推薦、ご参加一同より同意をいただいた。
- ・ 続いて、定池会長が協議会設置要綱に基づき、副会長に室蘭工業大学 有村教授を指名した。

**4 会長挨拶**

- ・ 定池会長より、挨拶を行った。  
（議事の進行は定池会長が行う）

## 5 議事

### (1) 津波防災地域づくり推進計画の策定について

(事務局 説明)

- \* 日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震の概要、厚真町の地域特性・これまでの津波対策、津波防災地域づくり推進計画策定の目的、津波防災地域づくり推進協議会の設置目的、協議会の進め方（今後のスケジュール）について説明した。
- ・ 事務局より、以下の2点について資料の訂正と補足を行った。
  - ・ 会議進行資料の37ページ、41ページ、44ページに記載されている「第2回津波防災地域づくり推進協議会」の日程を8月9日から8月8日に訂正。

### (2) 質疑応答

- \* 会長が各委員を指名し、議事に対するご意見をいただいた。

(各委員からのご意見)

- 北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所 所長 鈴木委員
  - ・ 道路事務所は日高道の道路管理を行っている。新たな日高道の整備も進めている。日高道が防波堤のようになっていることが分かる。また避難路の整備も対応させていただいている。この場で避難路等の議論があれば調整させていただく。
- 室蘭建設管理部苫小牧出張所 所長 矢野委員
  - ・ 上厚真の道路、厚真川の維持管理に関わっている。厚真川沿いに津波が遡上し、高規格道路の下を津波がくぐっている。これから策定される計画に対して、我々として何をしなければいけないか明記されることになると思うので、対策を進めていきたい。
- 胆振総合振興局地域創生部地域政策課 主幹 藤田委員
  - ・ 令和3年7月に被害想定が公表された。推進計画や緊急事業計画も関係してくる。関係課と連携して、乗り越えたい。
- 新日本海フェリー株式会社 苫小牧支店 支店長 吉岡委員
  - ・ 事業所は一番港に近いところにある。港に最大1000人を超える利用者のほか、船員、従業員がおり、どのように安全に避難してもらうかは、年1回訓練を実施している。民間としての取組、町としての取組は積極的に発信していきたい。
- 苫小牧港管理組合 専任副管理者 平澤委員
  - ・ 港の計画・管理・運営に関わっている。港湾区域が設定されており、区域の中に施設を作る場合は、我々の仕事に関わってくる。検討会の中で、津波の防護施設整備が出てくるのであれば、関係者と協議させていただきたい。
- 北海道電力株式会社 苫東厚真発電所 発電課長 堂前委員
  - ・ ライフラインの一部を担う企業として、災害時の早期の電力復旧を担っていく必要がある。
- 胆振東部消防組合 厚真支署 支署長 工藤委員
  - ・ 消防計画、避難計画が決まっている。津波到達の44分までの間、二次災害防止のため、消防の活動時間は19分間活動できるとしている。各所に避難広報活動をお願いして、19分間の活動後、避難して町民、隊員を守るため活動している。今年度からドローンを4機購入し、活動時間に対して空白時間がないように海岸線の巡回を多くして、6月から隊員を育成含め対応している。
- 厚真消防団 団長 澤山委員
  - ・ 消防署職員とともに行動を行う。4隊に分けて行動を行う。

● 鵠川漁業協同組合 厚真支所 副組合長 澤口委員

- ・災害時にお願いする立場だが、2011年の東日本大震災の際、厚真町でも4mの津波があった。その際、漁業者の対応として反省しなければいけないことがたくさんあった。津波だ、逃げろが合言葉だが、漁業者としてそれを守りたい。逃げるところが場合によっては浜に向かう可能性がある。どうにか折り合いを付けたい。漁師を教育しなければいけないと考えている。漁業者対象に出前講座をやってほしいと考えている。

● 社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会 会長 大橋委員

- ・厚真町全体の高齢化率が上がってきている。沿岸部の津波想定区域で生活している高齢者率は5割近くになる。津波に関しては全体で守るというより、てんでんこ、自分たちで判断して自分たちを守る事が大事と考える。これを住民に周知・徹底する事が重要であろう。町の津波ハザードマップは野原公園等に掲示してあるとのことだが、国道や町道の沿道に海拔標示の掲示を増やすなどして、通過車両にも周知する機会を増やすことが被害を少なくする上で重要と考える。

● サーフショップ tacoo 村上委員

- ・夏場では多いときに200名ほどサーファーがいる。津波によって一斉に移動する際にどう移動するか、どう周知するかが重要だ。数年前に音で周知するブザーの実験を行ったが、海にいと全く聞こえないという結果であった。茅ヶ崎等でやっている旗を振る方法があるが、サーファーに周知されていない。津波が発生したときにどこへ避難するべきかサーファーに周知することが重要と考えている。

● 浜厚真自治会 会長 館山委員

- ・会議が進む中で共通の認識、浜厚真の風景を思い浮かべながら進めてほしい。皆で一度現地を見ていただいて、それぞれのイメージの中で議論を進めてもらいたい。サーフィンの他、サッカー場もあり、大掛かりな大会が年数回開かれる。大型のバスが狭い出入り口を通過して駐車している。大会時に津波が来たら、どう逃げるかと思うところがある。

● 鹿沼自治会 会長 保田委員

- ・自治会役員が逃げろ言っても逃げなかったが消防団がきて言うのと逃げた。青年団が活躍した。感謝だけだ。

● 新町自治会 会長 矢幅委員

- ・厚真町は面積が広い。新町は海から離れているが、町内で温度差がでないような計画にしてもらいたい。

● 防災マスター代表 北海道地域防災マスター 阿部委員

- ・自主防災組織は6箇所が増えた。ただ、最初は知識がない、リーダーもいない。その中でいかにして地域のリーダーを作っていくか、地域の防災を守るためには重要と考える。自主防災組織が出来上がっているところも何から手を付ければよいかわからないところが本音にある。こうしたことに対する対策も本議論の中に含めてもらいたい。

## ●有村副会長の講評

- ・胆振東部地震は発生時の縦揺れが激しかったため、震源が近いと感じた。津波が来る可能性があるとその瞬間は思った。数分後には津波の心配がないと知り安心した。津波の心配があれば沿岸部全ての対応が必要になる。
- ・室蘭市役所とともにアンケートをとった。津波浸水予測区域内の住民でも3割くらいの住民は津波がこないと考え、準備をしていた住民は15%程度との結果が得られた。この割合は厚真にも当てはまるのではないかと。初動が早い人、遅い人に分かれるであろう。海に近いほど、すぐに逃げなければいけないはずなので、懇談会で住民がどのように思っているか検証したほうがよい。
- ・厚真町の津波ハザードマップを見ると、日高道が防潮堤の役割を果たしていることは知っておく必要がある。ただ、車で逃げるとすると避難経路が限定されるので、あらかじめ把握する必要がある。また、一時避難場所もあるので、あらかじめ自治会で共有したり、避難訓練を行ったりすることが必要であろう。
- ・自動車避難のあり方については、世帯数は少ないので渋滞にはならない可能性があるが、サーファーやサッカー場利用者、働いている方々もいるので、垂直避難や自動車避難が必要な方がどの程度いるのか検証が必要ではないかと。地域ならではの避難方法を検証してもらいたい。

## ●定池会長の講評

- ・各機関の委員の皆さんからは所属する機関の取組を共有させていただきながら対策の議論を重ねて各機関の対策にも還元していく必要がある。
- ・教育分野に関する意見としては、自ら判断するための教育や人材育成のためのキーパーソンの育成が重要となり、自主防災組織の育成にもつながる。
- ・平時と災害時の両面を考慮した情報提供手段の検討も必要となる。来訪者はサーファーやサッカー場利用者のみならず、各委員から話題に挙がらなかった教育旅行で訪れる人や観光客もイメージして対策を検討した方がよいのではないかと。
- ・対策を検討する際は、実際に現地を訪れて、距離感や地面の状況等を把握することが重要だ。また、自動車や船舶の利用といった多岐にわたる観点を持つことも必要だ。
- ・次回の検討会までに、住民やサーファーの方を対象とした懇談会を踏まえた検討を進めるが、各委員の皆さんにも各機関の検討状況を教えていただく機会があれば協力をお願いしたい。

(講評後の進行は事務局が行った。)

## 6 次回の協議会の開催予定

- ・事務局より第2回の協議会の予定を説明した。
- ・第2回の協議会の開催予定日は8/9から8/8に訂正。

## 7 閉会

以 上

◆会議写真



厚真町津波防災地域づくり推進協議会 検討状況（１）



厚真町津波防災地域づくり推進協議会 検討状況（２）

◆委員等一覧

(委員)

連番	職名	氏名	備考
1	東北学院大学 地域総合学部政策デザイン学科 准教授	定池 祐季	会長
2	室蘭工業大学 大学院工学研究科 教授	有村 幹治	副会長
3	浜厚真自治会 会長	館山 睿	
4	鹿沼自治会 会長	保田 喜久蔵	
5	厚和自治会 会長	宮崎 安弘	
6	新町自治会 会長	矢幅 敏晴	
7	防災マスター代表 北海道地域防災マスター	阿部 清一	
8	社会福祉法人 厚真町社会福祉協議会 会長	大橋 正治	
9	新日本海フェリー株式会社 苫小牧支店 支店長	吉岡 努	
10	鶴川漁業協同組合 厚真支所 副組合長	澤口 伸二	
11	北海道電力株式会社 苫東厚真発電所 発電課長	堂前 直秀	(代理) 発電課 運営 副長 吉田 典充
12	サーフショップ tacoo	村上 巧	
13	胆振東部消防組合 厚真支署 支署長	工藤 芳一	
14	厚真消防団 団長	澤山 慎一	
15	苫小牧港管理組合 専任副管理者	平澤 充成	(代理) 総務部業務経営課長 京野 勇一
16	北海道開発局室蘭開発建設部苫小牧道路事務所 所長	鈴木 武彦	
17	室蘭建設管理部苫小牧出張所 所長	矢野 明	
18	胆振総合振興局地域創生部地域政策課 主幹	藤田 和寛	
19	厚真町 副町長	西野 和博	

(オブザーバー)

連番	役職	氏名	備考
1	北海道札幌方面 苫小牧警察署 警備課長	伊藤 道德	
2	北海道胆振総合振興局 室蘭建設管理部事業室 地域調整課長	辻 亘	(代理) 企画調整係長 青木 郁雄
3	北海道建設部 建設政策局 維持管理防災課 主幹	中瀬 弓人	

(事務局)

連番	役職	氏名	備考
1	厚真町 地方創生復興担当事務	大坪 秀幸	業務調整
2	厚真町 総務課 課長	佐藤 大輔	
3	厚真町 まちづくり推進課 課長	宮下 桂	
4	厚真町 建設課 課長	佐藤 義彦	
5	厚真町 住民課 課長	藤岡 隆志	
6	厚真町 産業経済課 課長	木戸 達也	
7	厚真町 生涯学習課 課長	奥村 与志照	
8	厚真町 防災担当事務兼総務課防災担当参事	吉田 良行	運営等
9	厚真町 総務課防災グループ 主幹	蛇池 克広	
10	厚真町 総務課防災グループ 主幹	起田 淳	
11	厚真町 総務課防災グループ 主査	北川 桂	
12	応用地質株式会社 防災・減災事業部 防災マネジメント部 グループマネージャー	田淵 圭	
13	応用地質株式会社 防災・減災事業部 防災マネジメント部 グループリーダー	横山 昇平	
14	応用地質株式会社 防災・減災事業部 防災マネジメント部	木村 直人	